

DIGEST

平成27年 3月定例会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 ※議長は表決には加わりません。
赤字=議員が提出した議案 その他=市長提出議案

<2月26日～3月25日/会期28日間> 3月定例会には市長提出議案47件が提出されました。
また、陳情3件についても審議しました。(陳情は採択しません)

議案第6号 平成27年度三田市一般会計予算

平成27年度三田市一般会計予算の総額を歳入歳出それぞれ396億1千500万円と定めようとするもの

議案第11号 平成27年度三田市介護保険事業特別会計予算

平成27年度三田市介護保険事業特別会計予算の総額を歳入歳出それぞれ62億9千800万円と定めようとするもの

賛成 可決に 反対

可決
賛成18名
反対3名

【草莽の会】笠谷、森本、福田、今北 【新政みらい】佐貴、肥後、田中、厚地 【市民の会第二】美藤、檜田、坂本 【公明党】大西、松岡、平野 【市民の会第一】西上、家代岡 【無党派】北本、関口

【日本共産党】長尾、長谷川、中田

議案第6号に対する賛成討論

23年度当初予算から5年連続で財政調整基金を取りくずすことなく健全財政の堅持を基本としている。等

議案第11号に対する賛成討論

市の介護保険事業計画に基づき、適正な介護保険料を算定されるとともに、介護保険制度を維持していくことを目的に、様々な高齢者福祉施策に対する取り組みを推進する、充実した予算と考える。等

(新政みらい 肥後淳三)

議案第6号反対討論

図書管指定管理導入のリスクがまだ解消されていない。マイナンバー制度導入は個人情報の保護に不安が残る。等

議案第11号に対する反対討論

介護保険の基金を半分しか使わず、保険料が引き上げとなっている。高齢者の生活に大きな負担を負わすことになり、セーフティネット崩壊で、悲劇的な結果を生み出す原因にもなりかねない。等

(日本共産党 中田初美)

議案第30号 三田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険法施行令の一部改正に伴い、保険料率に係る区分を多段階化するとともに、平成27年度から平成29年度までの保険料率を改定する等に当たり、当該条例の一部を改正しようとするもの。

議案第31号 三田市総合福祉保健センター条例の一部を改正する条例の制定について

高齢者や障害者等の生活を支援するため、三田市総合福祉保健センターに新たに権利擁護・成年後見支援センターを設置するに当たり、当該条例の一部を改正しようとするもの。

議案第38号 三田市高齢者保健福祉計画及び三田市介護保険事業計画の改定について

三田市高齢者保健福祉計画及び三田市介護保険事業計画を改定するに当たり、三田市議会の議決すべき事件等に関する条例第2条第1号の規定により、議会の議決を求めるもの。

賛成 可決に 反対

可決
賛成18名
反対3名

【草莽の会】笠谷、森本、福田、今北 【新政みらい】佐貴、肥後、田中、厚地 【市民の会第二】美藤、檜田、坂本 【公明党】大西、松岡、平野 【市民の会第一】西上、家代岡 【無党派】北本、関口

【日本共産党】長尾、長谷川、中田

議案第30号に対する賛成討論

介護保険法の規定による3年毎の見直しで介護保険料の改定を行うもので安定した制度維持のために必要。等

議案第31号に対する賛成討論

生活困窮者自立支援法が施行されることに伴う改正で、市が主体的に責任を持ち、高齢者や障害者への権利擁護や困窮者支援を行おうとしている。等

議案第38号に対する賛成討論

急速な高齢化が予測される中、基金の活用により、急激な保険料の上昇を抑制し、市民負担に配慮した妥当な改定であると考え。等
(草莽の会 福田秀章)

議案第30号に対する反対討論

市が保有する基金全額を補填することで、介護保険料の引き上げを食い止めることができる。高齢者への負担を極力減らすために、有効な基金の活用を求める。等

議案第31号に対する反対討論

なぜあえて庁内に相談窓口を設けず社協に相談窓口設置も含め「丸投げ」をするのか。市が問題解決の努力をしていくことが必要と考える。等

議案第38号に対する反対討論

介護保険料の大幅な引き上げを含んでいる。等
(日本共産党 長尾明憲)

全議員が賛成した議案等(可決、同意)

予算 平成26年度三田市一般会計補正予算(第9号) など予算案件 13件

条例 三田市下水道条例及び三田市生活排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について など条例案件 21件

その他 三田市いじめ問題対策連絡協議会設置条例の制定について などその他案件 7件、人事案件 1件

議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。